

といった に 込いった 2つ!

ハコモノ」と:

土木インフラ

•公園

- •庁舎 •学校
- •スポーツ施設

<mark>インフラ:</mark>インフラストラクチャーの略 産業や社会生活の基盤となる施設のこと

など



分けることができる公共施設は

これらを総称して、 公共施設等」と呼んでいるんだ

- •道路
- •橋梁
- 上下水道净水場
- •下水処理場

ハコモノ

- •幼稚園•保育園
- •公民館•図書館

など









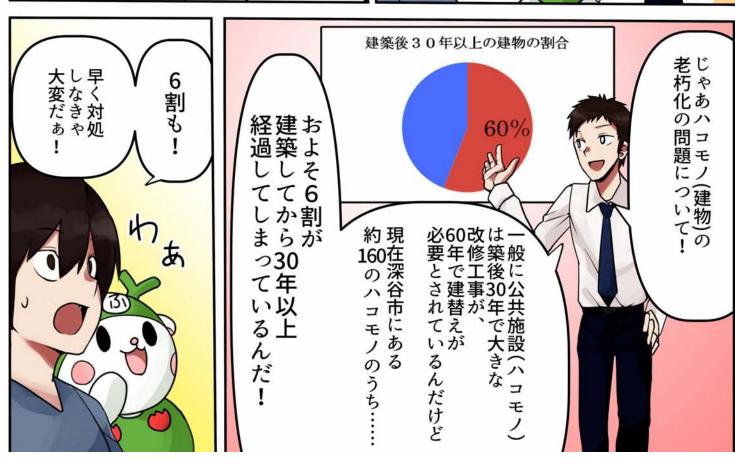
みようかな?コレに乗って....よし!



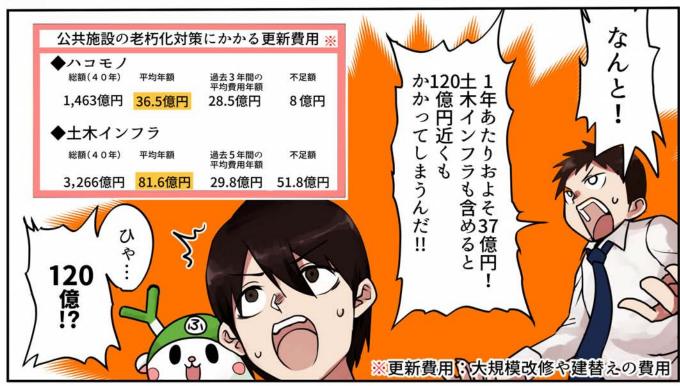
迷うなぁ……とれに乗ろうかいろいろな形ののな形ののであるんだ…のないのながのるんだ…いのなりの















人口減少 →総納税額の減少 少子高齢化→支出の増加

高齢の方が をなるよれ を存むしいめと を変をはじめと

納税も減り…人口が減れば

更















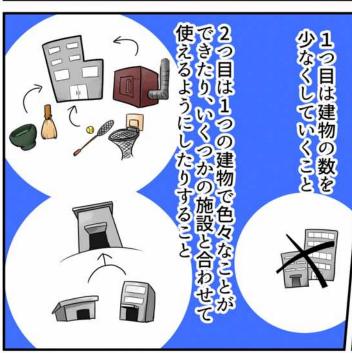












①保有総量の縮減

②多機能化•複合化

③計画的な保全による 長寿命化 平成4年11月に策定した のうち主な3つを 紹介すると…



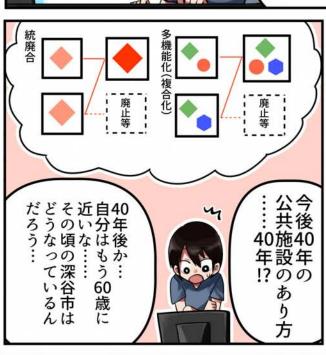


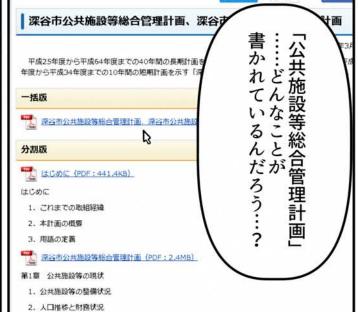
かお 解題は これだけの これだけの



















今までの話を整理すると………

公共施設問題

- ◎問題の背景
- ①老朽化による支出の増加
- ②税収減少による財源不足
- ③新たなニーズ(声)への対応

◎問題解決へのポイント人

少子高齢化・人口減少等による 財政面とのバランス (**)



◎問題解決への手法人

公共施設マネジメント

- ①保有総量の縮減
- ②多機能化•複合化
- ③計画的な保全による長寿命化



解決

<u>…でも、なにかが</u> __足りない!?











爆弾~~~~?:

ええ~~~~~~~



あ、いた!













対策を早急に進めていかなければだからこそ、公共施設の問題への

次の世代

9

ためにも!!





























(権達の住んでいる この場所はこれから どうなっていくのか… とうなるのか… どうなるのか… ではなく!



公共施設を考える

公共施設マネジメント啓発マンガ「いま、問われる未来のかたち」は、埼玉工業大学マンガ研究会の石川賢さんのご協力のもと、市民協働により作成いたしました。

作者である石川さんの実際の体験をもとに作られたこのマンガは、公共施設に迫る危機について、市民の皆様に知っていただく"きっかけ"となればとの願いが込められています。

職員:公共施設の老朽化の問題についてご存知でしたか。

石川:正直、全く知りませんでした。お恥ずかしい限りです・・・。

職員:平成24年12月に起きた中央自動車道笹子トンネルの事故 については、知っていたかな。この事故が一つの契機となり、公共 施設の老朽化について、より一層注目されるようになったんだ。





石川:ニュースの記憶はあるけど、身近には感じていませんでした。

職員:公共施設をこれからも 安全・安心に利用していくためには、施設の在り方を考えていく必要があるんだよ。

石川:そうですね。そのために、一人でも多くの方に知ってもらわないと。

職員:施設が無くなったりすることについてはどう思うかな。

石川:正直、複雑です。でも、将来を見据えての取組ですからね・・・。

職員:最後に、このマンガの読者に向けて一言お願いします。

石川:マンガをきっかけに、多くの方がこの課題を知り、考えてほしいです。

職員:ありがとうございました。そして、大変お疲れ様でした。



作者の石川賢さん

深谷市 企画財政部 公共施設改革推進室 平成29年7月発行 〒366-8501 深谷市仲町11番1号

☎048-571-1211 mail:s-kaikaku@city.fukaya.saitama.jp

